PIXEL
COMPANYZ INC.

ピクセルカンパニーズ株式会社
事業説明資料

2019年8月

Copyright(c) PIXELCOMPANYZ INC. All right reserved.

■目次

- ピクセルカンパニーズ　会社概要
- 取り組みの概要（2014年度～2018年度）
- 財務体質の強化・改善（2014年度～2018年度）
- 事業ドメイン　Fintech・IoT事業　事業概要（ピクセルソリューションズ株式会社）

  ▶2019年12月期第2四半期ハイライト
- 事業ドメイン　再生可能エネルギー事業　事業概要（ピクセルエステート株式会社）

  ▶2019年12月期第2四半期ハイライト
- 事業ドメイン　IR関連事業　事業概要（ピクセルゲームズ株式会社）

  ▶2019年12月期第2四半期ハイライト
- ピクセルカンパニーズ連結業績　2019年12月期第2四半期ハイライト
- 2019年の取り組み
- お知らせ
- 免責事項

Copyright(c) PIXELCOMPANYZ INC. All right reserved.

経 営 理 念

個性という輝きとグループの絆をもって　誠実で大きなビジネスを通じ　ひとりひとりが誇りをもって豊かな人生を歩む

PIXEL COMPANYZ　概要

名称	ピクセルカンパニーズ株式会社 －PIXEL COMPANYZ INC.－	
代表者	吉田　弘明	
設立	1986年10月	
資本金	2,633百万円	(2019年6月30日現在)
従業員数	64名（連結）	(アルバイト含む)
証券取引所	東京証券取引所 JASDAQ（スタンダード） 証券ｺｰﾄﾞ　2743	
事業内容	グループ全体の経営方針・ 戦略策定・経営管理	

PIXEL COMPANYZ　GROUP　概要

持株会社	ピクセルカンパニーズ株式会社
Fintech・IoT 事業	ピクセルソリューションズ株式会社 100%完全子会社
再生可能 エネルギー事業	ピクセルエステート株式会社 100%完全子会社
IR関連事業	ピクセルゲームズ株式会社　(※1) 100%完全子会社

（※1）旧商号　LT Game Japan株式会社（2016年2月設立時）
商号変更　2019年8月1日付（7月22日適時開示）

2002年 日本証券業協会店頭登録
2004年 JASDAQ証券取引所上場

Copyright(c) PIXELCOMPANYZ INC. All right reserved.

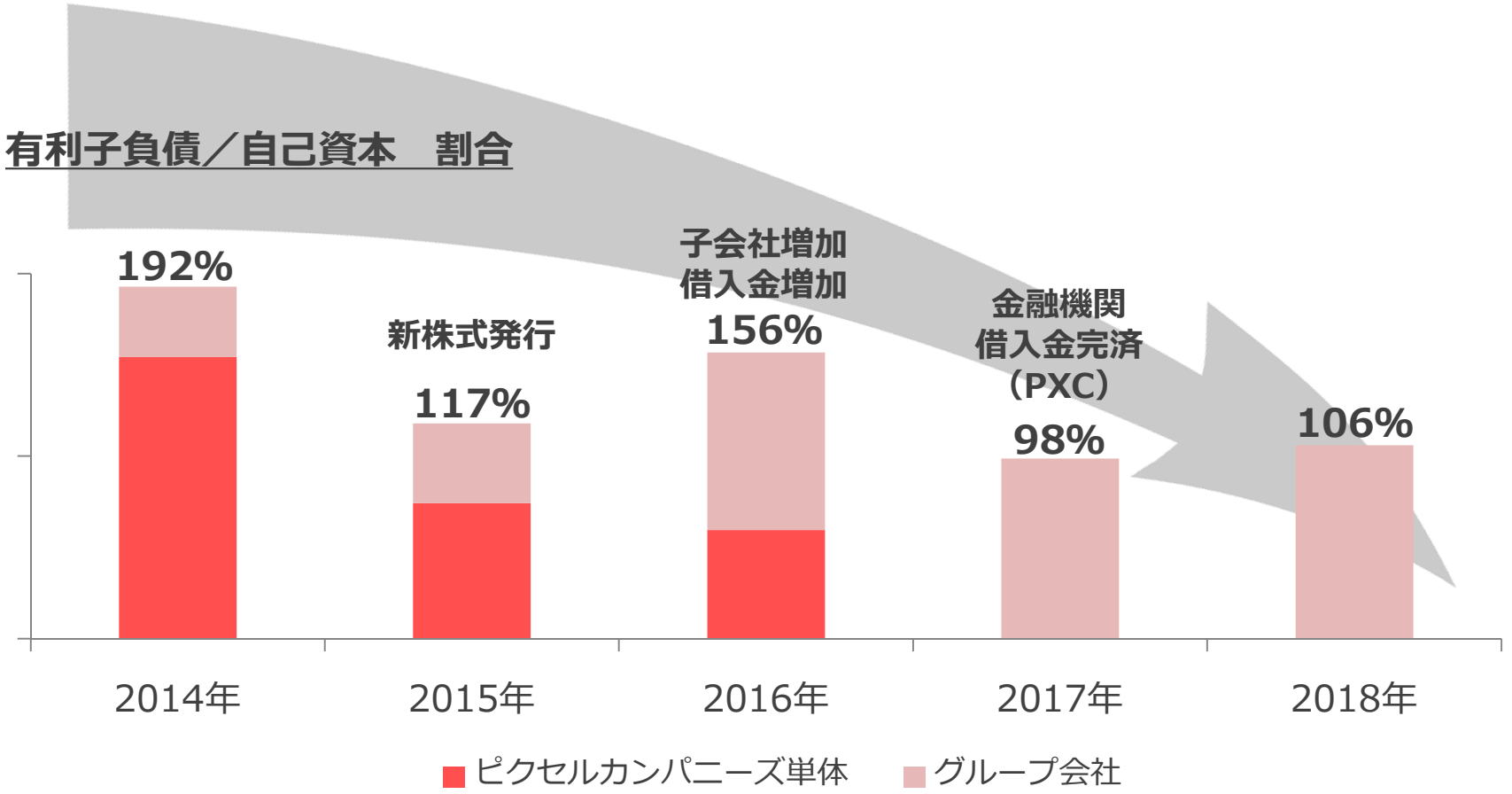
事業ドメインの拡充・財務体質の強化改善を実施

年度	主力事業ドメイン	事業ドメイン拡大	投資ドメインの選択と集中	事業ドメインの拡充	資本政策
2014年	■ オフィスサプライ事業 （旧商号：**ハイブリッド・サービス㈱**）	**新経営体制発足　《吉田 弘明　代表取締役就任（現任）》**			
2015年		**会社新設分割による持株会社体制化・商号変更　《ﾋﾟｸｾﾙｶﾝﾊﾟﾆｰｽﾞ株式会社》** ■ **太陽光発電事業強化** （現：再生可能エネルギー事業）			■ 新株式発行による増資 ■ 新株予約権の発行
2016年		■ **新規参入事業** 美容関連事業 半導体事業 **システム開発事業**（現：Fintech・IoT事業） **IR関連事業**			■ 株式交換による株式数増加 ■ 新株予約権行使による増資
2017年			■ **撤退事業** 美容関連事業 半導体事業 オフィスサプライ事業 その他不採算事業		■ 新株予約権の発行 ■ 新株予約権行使による増資
2018年	■ **Fintech・IoT事業** ■ **再生可能エネルギー事業** ■ **IR関連事業**			■ **Fintech・IoT事業** （ブロックチェーン） ■ **IR関連事業** （e-sports関連）	■ 新株予約権の発行 ■ 新株予約権行使による増資

***2019年*　３つのコア事業による営業黒字化**　　**システム開発への投資**　　**財務基盤の強化・改善**

Copyright(c) PIXELCOMPANYZ INC. All right reserved.

2017年度単体における有利子負債ゼロ達成
2018年度グループ有利子負債割合　2014年度比85%減少
増資によりグループ運転資金調達実施



Copyright(c) PIXELCOMPANYZ INC. All right reserved.

PIXEL Solutions INC.

SI事業（※1）をコアに“Fintech・ IoT事業”を構築

事業概要

- システム開発の受託
  - ・金融機関向けシステム開発
  - ・ブロックチェーン技術を用いたシステム開発
  - ・顔認証システム開発　　他
- エンジニア派遣による技術支援サービス
- 取引先：
  金融機関（大手信託銀行、大手損保　等）、広告代理店、
  ゲーム制作会社、官公庁、地方自治体　　他
- 多用なプログラミング言語(※2)に対応可能

HTML ・PL/I ・VB ・ASP ・Java ・Rudy ・XML ・ C
C++ ・C# ・Swift ・Perl ・.Net ・COBOL ・ASSEMBLER 他

ピクセルソリューションズ株式会社は、ホストからサーバおよびクライアントシステムまで、お客様のニーズに合わせ、コンサルテーションおよびシステム開発を様々な領域においてお手伝いさせていただきます。

1	2	3	4	5
事務の合理化(BPR)およびコンピュータ利用に関するコンサルテーション業務	コンピュータシステムの開発、販売および情報処理サービス業務	インフラ環境の設計、構築、導入業務	コンピュータおよび周辺機器の販売	運用保守およびオフショア開発

市場環境（新たな市場ニーズ）

- **ブロックチェーン技術（ｽﾏｰﾄｺﾝﾄﾗｸﾄ）を用いたシステム**
  - ■金融取引等の簡素化、不正予防ニーズ
  - ■開発可能ｽﾏｰﾄｺﾝﾄﾗｸﾄ：[ｲｰｻﾘｱﾑ], [ｸｫｰﾗﾑ], [ﾊｲﾊﾟｰﾚｼﾞｬｰ], [NEO]
  - ▶受託案件：ゲームアプリコイン、地域共通通貨（コイン）、
    カジノ用決済システム（NEVULA）
- **顔認証システム**
  - ■東京オリンピックに向けて国内セキュリティ・ニーズの増加
  - ■「犯罪収益移転防止法施行規則」の改正による金融機関ニーズ
    （※ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ上で本人確認が可能）
  - ▶受託案件：金融機関向け本人識別用（KYC）顔認証
- **スマートメーターの開発**
  - ▶特許出願中の**“電子的封印技術”**
  - 「第1回 先進的IoTﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ選考会議 Finalist16社」経産省
  - 「ものづくり企業ｸﾞﾙｰﾌﾟ高度化支援事業 認定」H27東京都

市場ニーズにマッチした新たな技術システムへの対応

Copyright(c) PIXELCOMPANYZ INC. All right reserved.

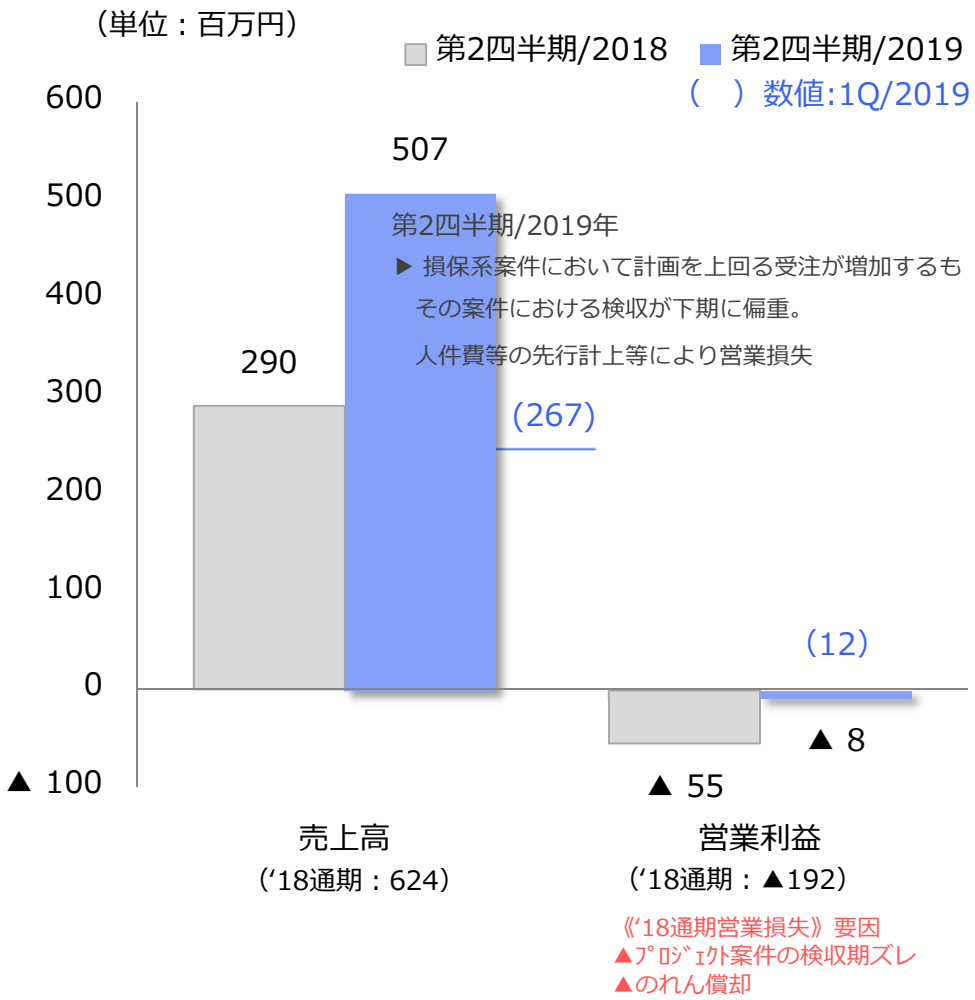
PIXEL COMPANYZ INC.

（※1）【SI事業】：System Integration（ｼｽﾃﾑｲﾝﾃｸﾞﾚｰｼｮﾝ）企業の情報システムの企画、 設計、開発、構築、導入、保守、運用などを 一貫して請負う事業

（※2）プログラミング言語：コンピュータプログラムを記述するための形式言語であり、それによってコンピュータは何らかの計算やアルゴリズムが実行される

2019年12月期第２四半期（1-2Q）ハイライト　▶ｾｸﾞﾒﾝﾄ営業利益の縮小

■売上高・営業利益（前年同期比）



■新規受託(ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ)案件進捗状況

※2019.6月末現在

	D	C	B	A	開始	期間
家電量販店	→	→	→	→		2019.7-9月
家電量販店	→	→				2019.12月まで
家電量販店	→	→				2020.3月まで
証券会社	→	→	→			2019.9月まで
暗号資産取引所	→	→				
大手銀行	→	→	→			2019.11月まで
大手銀行	→					
大手銀行	→					

進捗　D:ﾋｱﾘﾝｸﾞ → C:提案 → B:見積提案 → A:内示

■ 今後の活動

▶ 既存（銀行・損保/常駐）案件による安定収益の確保

▶ 進行中案件の年内検収と新規受注案件の増加

▶ エンジニアの確保

Copyright(c) PIXELCOMPANYZ INC. All right reserved.

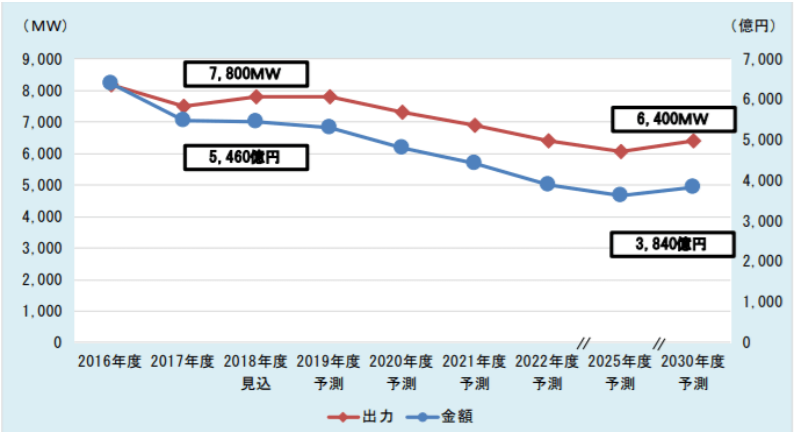
PIXEL ESTATE INC.

太陽光発電施設販売を主軸に、投資家・ファンドへの販売

事業概要

- 太陽光発電施設の販売・設置・取次
- その他再生可能エネルギー関連商材の販売等
- 販売先：法人・個人投資家

市場環境

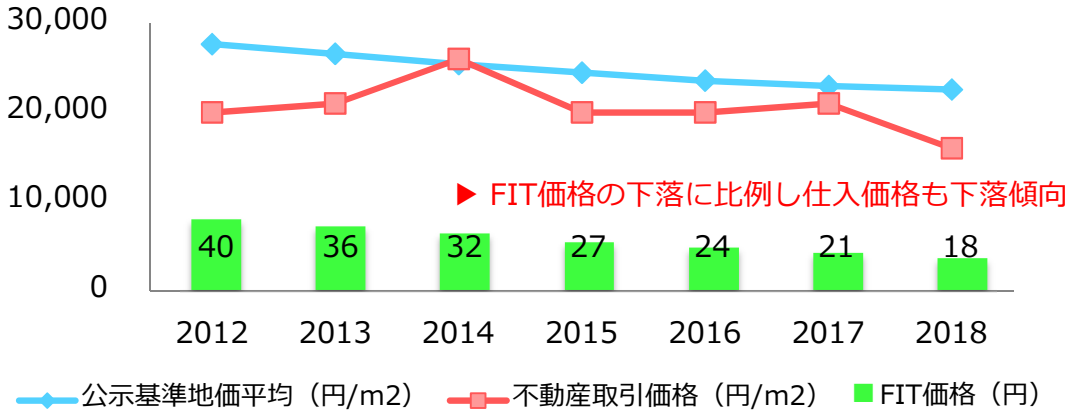


※出典：富士経済「2018年版 太陽電池関連技術・市場の現状と将来展望」

調査会社によると上図の通り2017年のFIT法改正より2018年度以降は市場が縮小傾向にあり、金額ベースでは、2018年度(5,460億円)から2030年度(3,840億円)比較では約70%に市場規模が縮小すると予測されている。

当社の取り組み

■ FIT（固定買取）価格と仕入価格の推移　(土地価格 例)



※抜粋引用：ｲﾝﾀｰﾈｯﾄｻｲﾄ「土地代データ」より「鹿児島県霧島市」地価公示価格・不動産取引価格推移

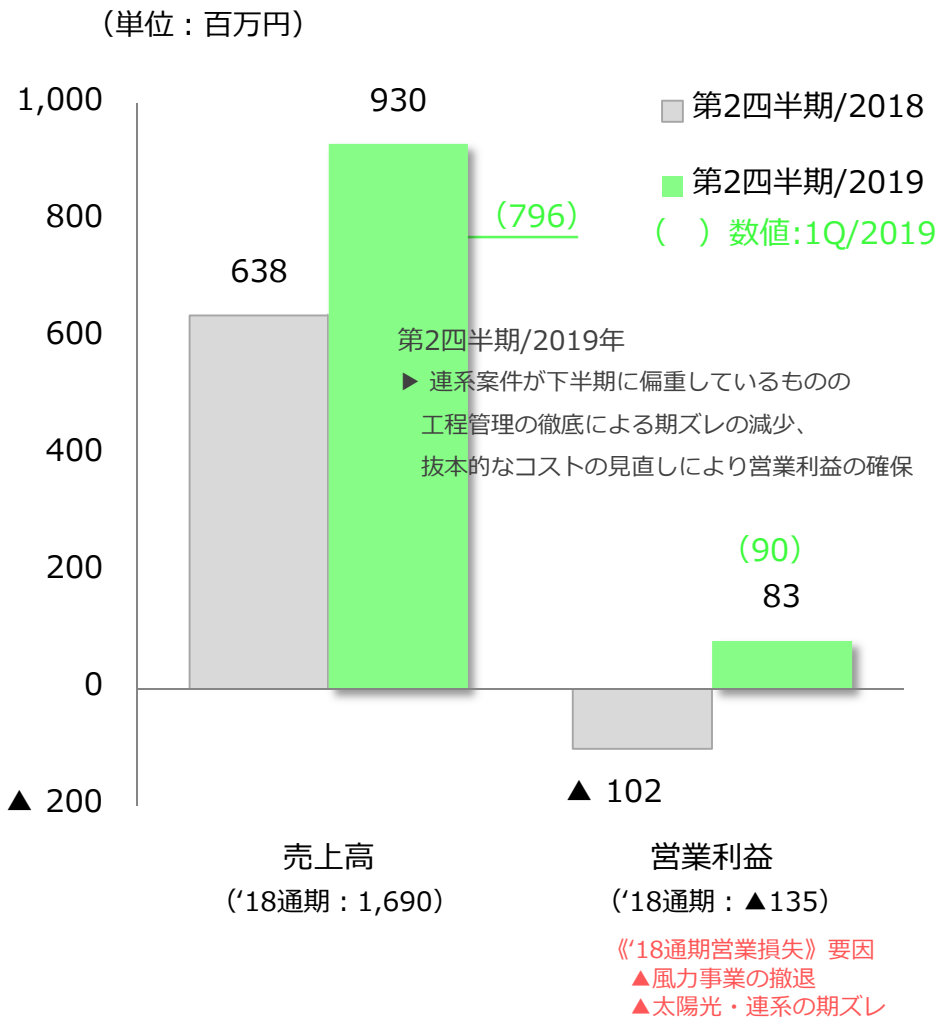
▶ FIT価格の下落に伴い、太陽光発電市場も縮小傾向ではあるが、上図の通り「太陽光発電設備（機材・土地・ID）」の仕入価格も同様に下落。経験・実績による“仕入ﾃﾞｭｰﾃﾞﾘｼﾞｪﾝｽ（DD）力“と"会計士・税理士との密なﾘﾚｰｼｮﾝ・現顧客ﾈｯﾄﾜｰｸ（紹介）による販売力”が高利回り物件の確保・提供を実現している。

表面10～11%の利回り物件の提供

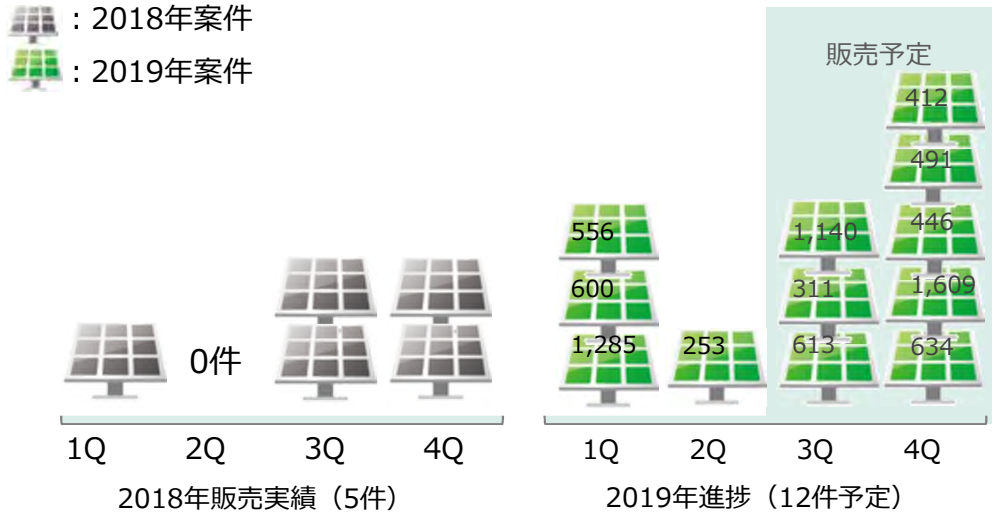
Copyright(c) PIXELCOMPANYZ INC. All right reserved.

2019年12月期第２四半期（1-2Q)ハイライト　▶ｾｸﾞﾒﾝﾄ営業利益の確保

■売上高・利益（前年同期比）



■「太陽光」仕入販売進捗状況（前年比）



※2019年案件数値は発電容量（単位：kw）です。

（※2019.6月末現在）

■ 今後の活動

- ▶ 2019年内連系の新規案件の仕入継続
- ▶ 販売ネットワークによる販売先の拡充
- ▶ 下期仕入済案件の今期内確実な連系（＝売上）
- ▶ 来年2020年以降の連系案件の仕入（'20-'21年連系案件仕入済有）

Copyright(c) PIXELCOMPANYZ INC. All right reserved.

※「連系」：発電した電力を売電するために、電力会社の電力系統に発電設備を配線し接続することです。
連系工事は電力会社への申込みの上、立会いが必要なことから、手続きや立会い日程の調整等により時間を要する場合があります。
尚、当社の売上計上は監査法人との協議により「連系」「引渡」を以って計上することとしているため、連系の遅延により期ズレ(リスク)が生じます。

（商号変更）2019年8月1日
（旧商号）LT Game Japan株式会社

PIXEL GAMES INC.

✓ *2019年3月末 開発完了・今期開発コストの大幅ダウン*見込

事業概要

- カジノゲーミングマシン、プラットフォーム
  販売・企画・開発製造受託・保守
- 販売先：海外カジノ運営施設、販売代理店
  （ｶｼﾞﾉ業界）新規参入国内企業

開発実績（2016年～2018年）

- スロットマシン
  RGX-1000シリーズ：12 TITLE
  RGX-2000シリーズ： 2 TITLE
- SIC-BO（大小）マシン
  MD-01　　：　1 TITLE

《1Q/2019 自社開発ゲームTITLEの１部を売却》

- 国際基準 適合《認証機関：Bmm Testlabs（※1）》

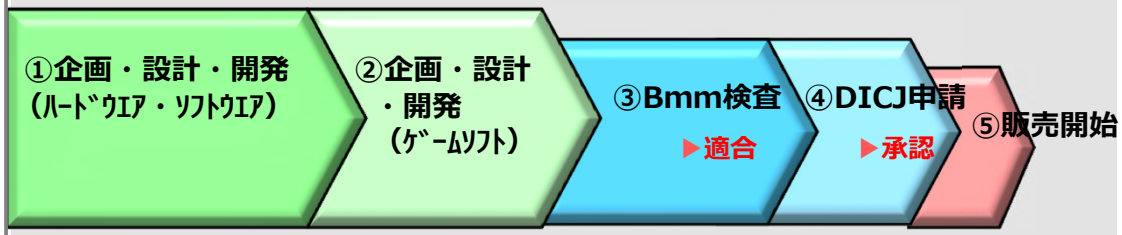
(1) Electronic Gaming Machines Technical Standards
ベースプラットフォーム（ハードウエア⇄ソフトウエア）

(2) Jackpot Technical Standards
ジャックポット機能（多種のﾏｼﾝやｼﾞｬｯｸﾎﾟｯﾄ、ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ通信等）

(3) Advanced Funds Transfer (AFT)
AFT対応機能　（ﾏｼﾝとｶｼﾞﾉ会計ｼｽﾃﾑ(SAS)を繋ぐ最新電子資金振替）

開発実績（2016年～2018年）

- 一般的開発プロセス（例：ﾏｶｵｰﾌﾟﾛｾｽ）



▶**③Bmm検査**：各基準テスト項目が適合するまで、[修正改良]⇔[再検査]を繰り返す
▶**⑤販売開始**：カジノ施設との協議にて個別の仕様要求が生じる場合も有る
カジノ施設の個別仕様の変更等が発生した場合、変更部分の③検査・④申請が再度必要

※③④は国/エリア毎の所管規制局（政府）により異なるため、開発設計①②の段階から
各国のﾚｷﾞｭﾚｰｼｮﾝ調査が必要

上図の一般的開発プロセスにおける他社(平均)の開発は、
「開発費用：約***30***億円超、開発期間***5***年超」程度と言われているが、
当社は「**開発費用 約*10*億円、開発期間 約*3*年**」を実現。

カジノ機器開発に精通したエンジニアにより費用・期間の大幅削減

Copyright(c) PIXELCOMPANYZ INC. All right reserved.

PIXEL COMPANYZ INC.

（※1）Bmm Testlabs(Bmm)とは…各国規制当局の定める基準に準拠するか検査する規制当局から認定された独立認証機関（他 GLI 等）

（※2）DICJとは…マカオにおけるゲーミング（カジノ、宝くじ等）市場を統括監理する**政府の規制当局**

PIXEL GAMES INC.

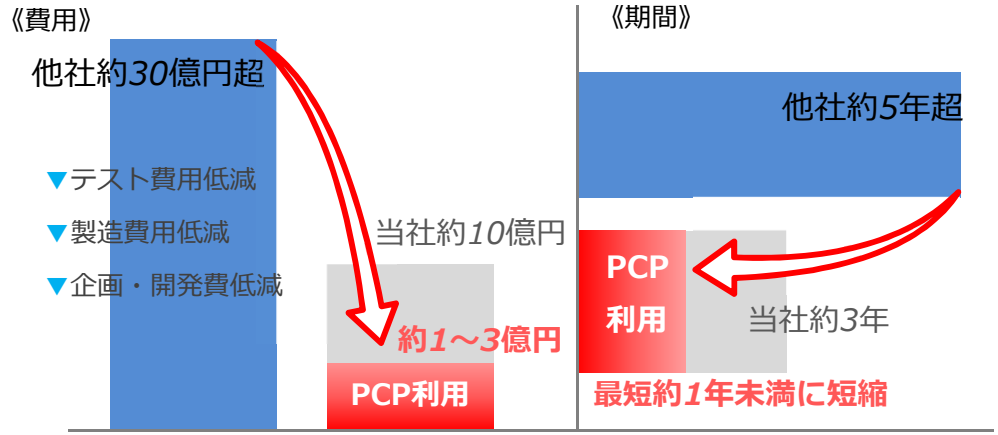
2019年　販売施策の拡充による販売強化

自社の強みを活かした販売施策の拡充　▶▶　カジノ業界参入ソリューションの提供

「BMM Testlabs」や「GLI」等の公的認定された認証機関による厳しい検査に合格し、ﾏｶｵDICJ基準の適合(承認)を受けた日本のカジノ機器開発企業は現在僅か***4社***。その内で当社は日本国内のパチンコ・IP事業(業界)で競合しない唯一の独立系企業。

■ “国際基準適合プラットフォーム”と“開発ノウハウ”の提供

PIXEL CASINO PLATFORM (仮名称)



※PCP利用値：自社実績値を含むシュミレーション値です。

当社実績より更に大幅な費用・期間の削減が可能

■ PCP活用により**新規参入障壁の低減が可能** (日本国内企業向け)

01 短縮化＆コスト圧縮

弊社**ライセンス取得済みプラットフォーム**を活用。申請や修正の時間・費用が大幅圧縮され、**期間短縮と必要投資の最小化**を実現。

02 専門知識技術力の提供

業界経験豊富な専門開発チームが、カジノゲーミング機器の企画・開発から保守まで一貫体制で行う。（日本人エンジニア）

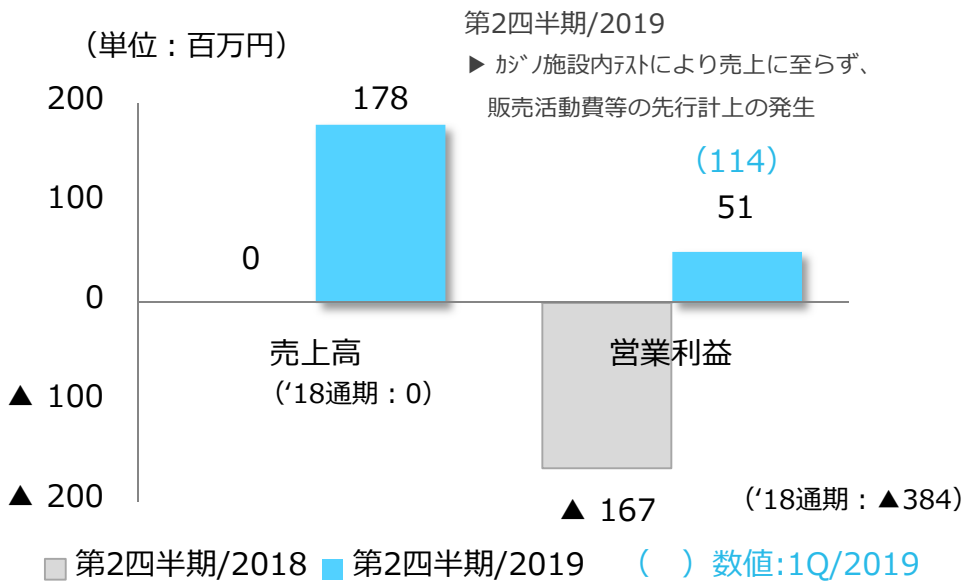
03 業界ネットワーク紹介

弊社の各エリア**カジノ業界の海外ネットワーク**をご紹介。
開発機の販路開拓に活用可能。

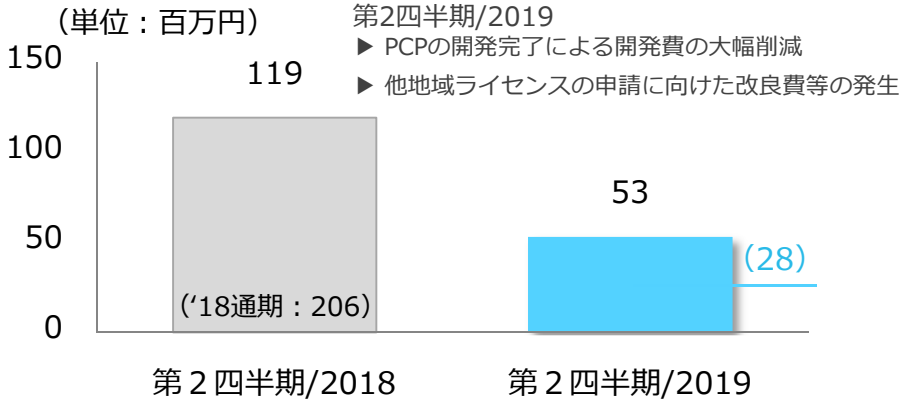
Copyright(c) PIXELCOMPANYZ INC. All right reserved.

2019年12月期第２四半期（1-2Q）ハイライト　▶ｾｸﾞﾒﾝﾄ営業利益の確保

■売上高・利益（前年同期比）



■今期開発費の減少（前年同期比）



■販売進捗状況

※2019.6月末現在

(1)マシン販売	開発	検査 (Bmm) (※1)	申請 (DICJ)	検査申請 (※2)	施設内ﾃｽﾄ (※3)	ﾄﾗｲｱﾙ	販売
ﾏｶｵ①							
ﾏｶｵ②							
ﾏｶｵ③							
ﾏｶｵ④							
ﾌｨﾘﾋﾟﾝ		★検査：Bmm　申請：PAGCOR					

(2)PCP販売	商談 (PCP)	契約	開発 (ｹﾞｰﾑ)	検査 (Bmm)	申請 (DICJ)	販売開始	販売
BNAM社	TEKKEN			★6/28承認（DICJ）			
A社(ﾊﾟﾁｽﾛ)							
B社(ｹﾞｰﾑ)							
C社(ﾊﾟﾁｽﾛ)							
C社(ﾊﾟﾁｽﾛ)							

■ 今後の活動

- ▶ TEKKENｼﾘｰｽﾞの早期販売開始
- ▶ PCP販売の拡大（目標　2019年：1-2社　2020年～：3-5社/年）
- ▶ 販売（見込）案件の確実な販売と販路拡大
- ▶ 通期開発費の大幅削減

Copyright(c) PIXELCOMPANYZ INC. All right reserved.

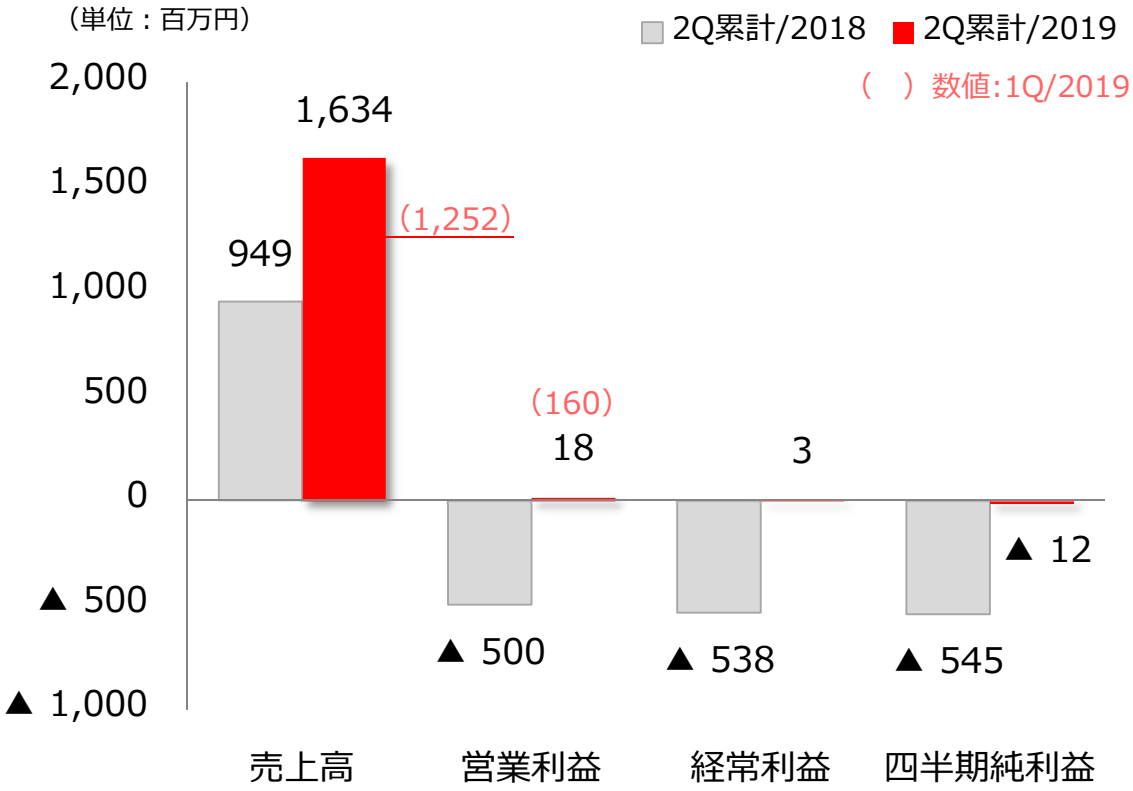
(※1)検査申請：検査機関（Bmm等）および各国政府期間（DICJ等）へのﾚｷﾞｭﾚｰｼｮﾝ申請
(※2)カジノ施設との設置協議による仕様変更後、再度「検査」「申請」が必要。（国・施設ごとに不要な場合もある）
(※3)施設内ﾃｽﾄ：カジノ施設の会計システム等と実機の連動確認ﾃｽﾄ後、ﾏｶｵの場合、DICJによる設置立会い検査がある

2019年12月期第２四半期（1-2Q)ハイライト　▶連結営業利益の縮小

PIXEL COMPANYZ INC.

■連結経営成績（対前年同期比）

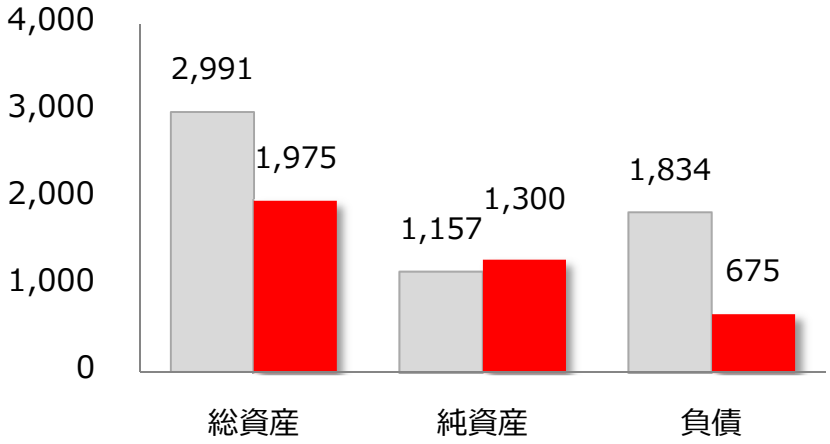
（単位：百万円）



当第2四半期累計期間では、費用の抜本的見直しによる費用の削減に取り組むが、
各セグメントにおける売上計上が下期に偏重していることや、人件費や販売活動費の先行計上等により、営業利益、経常利益を計上したものの四半期純損失となった。
下期案件の確実な連系と検収により、2019年12月期通期〝営業黒字の拡大〟を目指す。

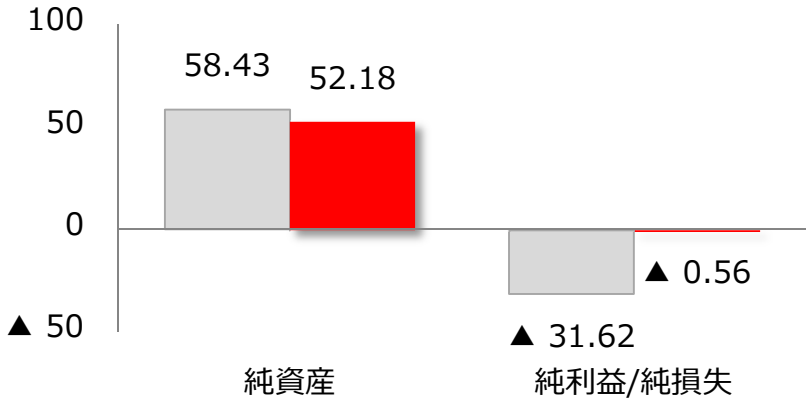
■連結財務状況（対前年同期比）

（単位：百万円）



■1株当たりの四半期純資産・純純利益（対前年同期比）

（単位：円）



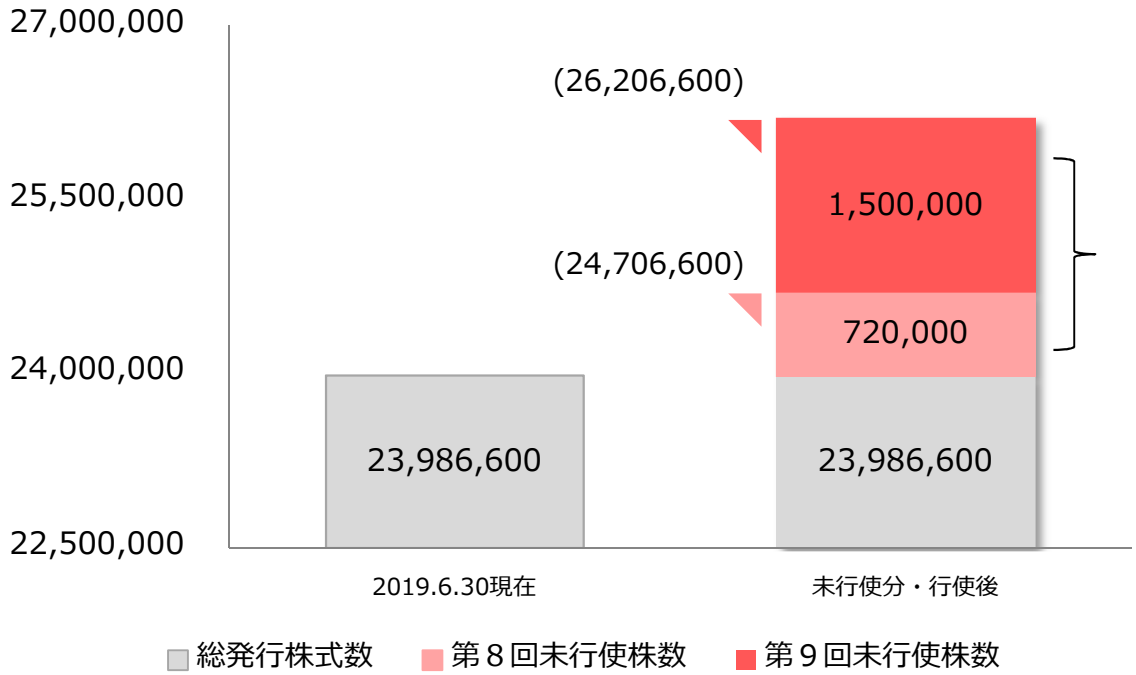
Copyright(c) PIXELCOMPANYZ INC. All right reserved.

2019年12月期第２四半期（1-2Q）ハイライト

PIXEL COMPANYZ INC.

■潜在株式数（“新株予約権”行使状況）

（単位：株）



新株予約権 発 行 回	第８回	第９回
発行総株数	3,000,000	4,000,000
行使価格	303円	190円
行使済株数 (行使率%)	2,280,000 (76%)	2,500,000 (62.5%)
未行使株数	*720,000*	*1,500,000*
未行使分行使による資本金増加額	*110,808,000 円*	*144,900,000 円*

新株予約権 今期最終行使日：2019年5月9日

（2019年6月30日時点）

Copyright(c) PIXELCOMPANYZ INC. All right reserved.

2019年 『開発完了に伴う開発費の大幅削減』
・『販売施策の実行』による営業利益の通期黒字化 ～ 成長フェーズへ ～

■Fintech・IoT事業 《市場ニーズへの対応》

▶ 既存（銀行・損保/常駐）案件による安定収益の確保

▶ 新規（ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ）案件の受託の拡大

■再生可能エネルギー事業 《太陽光発電施設の販売》

▶新規（今期）連系案件の仕入継続

▶ 販売ネットワークによる販売先の拡充

▶ 仕入済案件の今期内確実な連系・販売

■IR関連事業 《販売販路の拡大》

▶ TEKKENｼﾘｰｽﾞの早期販売

▶ PCP販売の拡大

▶ 既存販売(見込)案件への確実な販売と販路拡大

▶ 自社開発費の大幅減少

3つのコア事業の販売施策により

“通期営業黒字”を目指す

■ﾌﾞﾛｯｸﾁｪｰﾝｼｽﾃﾑ開発受託事業《保有NEVULAの売却》

▶ ﾊｲﾌﾞﾘｯﾄﾞ香港（当社ｸﾞﾙｰﾌﾟ）のｼｽﾃﾑ開発報酬として受領（※1）した『NEVULAﾄｰｸﾝ』が、取引規模 世界第７位の仮想通貨交換所『COINEAL（所在：ｼﾝｶﾞﾎﾟｰﾙ）』に上場された（※2）ことで、相対取引（OTC）に加え交換所での市場取引により、売却・処分、交換（売却等）を行う予定です。　※尚、売却等時期は、流動性等の市場動向を鑑みた上で実行予定です。

Copyright(c) PIXELCOMPANYZ INC. All right reserved.

(※1)2018年8月17日付「スマートコントラクトシステム開発の受託および納品完了に関するお知らせ」
2018年8月29日付「（開示事項の経過）スマートコントラクトシステム開発の受託および納品完了に関するお知らせ」
(※2)2019年5月9日付「当社子会社が所有するNEVULAトークンの仮想通貨交換所での取引開始に関するお知らせ」

■お知らせ

1．第２回北九州市IR推進協議会・検討会に登壇

2019年7月29日、当社代表の吉田弘明は、北九州市IR推進協議会からのご招待を受け、「IRの産業構造と地域企業の参画機会」をテーマにキャピタル＆イノベーション㈱代表取締役社長・小池様と共にプレゼンターとして同IR推進協議会・検討会にて登壇いたしました。

※キャピタル＆イノベーション㈱社は、カジノを含む統合リゾート（IR）の政治、経済情報のポータルサイト「カジノIRジャパン」の運営会社です。

参考URL http://casino-ir-japan.com/

※出典：カジノIRジャパンより

2．〝日経 統合型リゾートフォーラム大阪“への参加

当社は、2019年8月8日、大阪で開催された日本経済新聞社が主催する「日経 統合型リゾートフォーラム大阪」のスポンサーとして参加いたしました。

また、同社ニュースWebサイト日経電子版に当社代表・吉田弘明のインタビュー記事が、日経電子版広告特集コンテンツとして2019年9月中旬に掲載予定。

※「日経 統合型リゾートフォーラム大阪」はIR誘致を表明している大阪を会場とし、関西圏経済への波及効果に着目するとともに、ギャンブル依存、治安上の対策といったIR開設に伴う課題についても深い議論をおこなう場として開催されました。

引用：日経 統合型リゾートフォーラム大阪　Webサイト

参考URL https://www.global-nikkei.com/nirf19/

※現地撮影

Copyright(c) PIXELCOMPANYZ INC. All right reserved.

■免責事項

本資料に記載されている、当社グループの現在の計画、見通し、戦略およびその他の歴史的事実でないものは、作成時点において入手可能な情報に基づく将来に関する見通しです。

将来の業績に関する見通しは、将来の営業活動や業績、出来事、状況に関する説明における「確信」「期待」「計画」「戦略」「見込み」「想定」「予測」「予想」「目的」「意図」「可能性」やその類義語を用いたものに限定されません。

口頭または書面による見通し情報は、広く一般に開示される他の媒体にも度々含まれる可能性があります。
これらの見通しまたは試算に関する情報は、作成時点において入手可能な情報に基づく将来に関する見通しです。

実際の業績には、多くの重要なリスクや不確実な要素により、これら業績見通しと大きく異なる結果となりうるため、これら業績見通しのみに全面的に依拠することは控えるようお願いします。

また、新たな情報、将来の事象、そのほかの結果にかかわらず、当社グループが将来の見通しや試算を見直して改定するとは限りません。
当社グループはそのような義務を負いません。

また、本資料は日本国内外を問わずいかなる投資勧誘またはそれに類する行為のために作成されたものでもありません。

Copyright(c) PIXELCOMPANYZ INC. All right reserved.